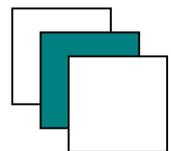


神崎市水源地域振興対策検討

第3回住民ワークショップ 実施結果

目次

<項目>	<頁>
1. 開催概況	1
2. 進行の概要	1
3. 主な意見	6



1. 開催概況

日 時：令和2年10月2日（金） 19：00～21：15

場 所：脊振勤労体育館

内 容：

開 会

1. あいさつ・ワークショップの趣旨説明
2. 城原川ダム事業の進捗状況について
3. 第2回ワークショップの振り返り
4. ワークショップの進め方
5. グループワーク
 - 1) 将来像を実現させるための取組及び実施体制について
 - 2) まとめ・発表
 - 3) 地域づくりフォーラムの企画検討
6. 講評（五十嵐委員長）
7. その他、閉会

閉 会

2. 進行の概要

1. あいさつ・ワークショップの趣旨説明

事務局（神崎市）によるあいさつおよびワークショップの趣旨説明。

2. 城原川ダム事業の進捗状況について

国土交通省から城原川ダム事業の進捗状況を説明。

3. 第2回ワークショップの振り返り

事務局（中央開発（株））から第2回ワークショップの振り返りについて説明。

4. ワークショップの進め方

事務局（中央開発（株））から住民ワークショップの進め方について説明。



第3回住民ワークショップの様子

5. グループワーク

A～Eの5つのグループに分かれ、第2回ワークショップで話し合った城原川ダム周辺地域及び上流域における将来像の方針において、具体的な取組とその実施体制について意見交換。各グループで出た意見を各グループの代表者が発表。

なお、地域づくりフォーラムの企画検討は、時間の都合上、グループワークで出た意見を踏まえ、企画・検討することで合意。

A グ ル ー プ		
B グ ル ー プ		
C グ ル ー プ		
D グ ル ー プ		
E グ ル ー プ		

< Aグループ >

神崎市水源地域振興対策検討 住民ワークショップ

A グループ

将来の方針 (ソフト)	住民・関係団体	各団体との連携	行政	ダム周辺整備事業
水と自然 観光 健康 特産品 水と自然 歴史 観光 情報発信 事業継承	水と自然 観光 健康 特産品 水と自然 歴史 観光 情報発信 事業継承	小水力 各団体との連携 水と自然 観光 健康 特産品 水と自然 歴史 観光 情報発信 事業継承	行政 水と自然 観光 健康 特産品 水と自然 歴史 観光 情報発信 事業継承	ダム周辺整備事業 水と自然 観光 健康 特産品 水と自然 歴史 観光 情報発信 事業継承

< Bグループ >

神崎市水源地域振興対策検討 住民ワークショップ

B グループ

将来の方針 (ソフト)	住民・関係団体	各団体との連携	行政	ダム周辺整備事業
豊かな自然 誇り文化 歴史 観光 情報発信 事業継承	豊かな自然 誇り文化 歴史 観光 情報発信 事業継承	豊かな自然 誇り文化 歴史 観光 情報発信 事業継承	豊かな自然 誇り文化 歴史 観光 情報発信 事業継承	豊かな自然 誇り文化 歴史 観光 情報発信 事業継承

Handwritten diagram on the B group page includes:

- 自然** (Nature): Private forest management, tree preservation, community maintenance.
- 歴史** (History): Local history, historical sites, historical buildings.
- 観光** (Tourism): Sightseeing spots, sightseeing courses, scenic spots, hot springs, dam restoration.
- 行政** (Administration): Elementary and middle schools, local government.
- 連携** (Cooperation): Information exchange, local information, existing initiatives, cooperation.
- 事業継承** (Business Succession): Information exchange, local information, existing initiatives, cooperation.

<Dグループ②>

神崎市水源地域振興対策検討 住民ワークショップ

D

グループ

将来像の方針 (キーワード)	住民・関係団体	各団体との連携	行政	ダム周辺整備事業
音も 臭い川 水質 自然 体験 できると 場所	きれいな水を 保てるには 環境を作る 水質改善 水質改善 水質改善 水質改善	自然体験 の場を増やす (環境教育) 自然体験 の場を増やす (環境教育) 自然体験 の場を増やす (環境教育)	水質改善 水質改善 水質改善 水質改善	
観光 (自然)	山地を 活かす	地元 の 観光 資源 を活かす 観光資源 を活かす	木の 管理 資源の 有効活用 (専門機関)	キャンプ場 を作る キャンプ場 を作る

<Eグループ>

神崎市水源地域振興対策検討 住民ワークショップ

E

グループ

ソフト ハード

環境人
ズクリ
ズクリ

With
ココロ

将来像の方針 (キーワード)	住民・関係団体	各団体との連携	行政	ダム周辺整備事業
地元資源の活用・発信	地域の物販 せせぎ 館 生活の 流れ E-カー 行事 情報 発信 一般の SNS	情報 発信 倉庫の 柿 作り の こ ん に せ く したけ カラエ ワカ もめた	ふるさと 納税 ふるさと 納税 ふるさと 納税	道の駅 道の駅 道の駅
自然 夢がある	自然 夢がある	自然 夢がある	自然 夢がある	自然 夢がある
アクセ しやす 利便性 層間 人口の 増加	地域 おし て 高 層 の 卒業 後の 活躍	地域 おし て 高 層 の 卒業 後の 活躍	地域 おし て 高 層 の 卒業 後の 活躍	地域 おし て 高 層 の 卒業 後の 活躍
定住 風通しの 良い コミュニティ	定住 風通しの 良い コミュニティ	定住 風通しの 良い コミュニティ	定住 風通しの 良い コミュニティ	定住 風通しの 良い コミュニティ

6. 講評（五十嵐委員長）

五十嵐委員長より各グループの発表内容等を踏まえた講評。

7. その他

事務局（神崎市）より連絡事項等の伝達。

3. 主な意見

◆ 将来像を実現させるための取組及び実施体制について

(1) A班

将来の方針	住民・関係団体	各団体との連携	行政	ダム周辺整備事業
水を使った観光・小水力 観光での活性化	<ul style="list-style-type: none"> 歴史を活用した勉強会 原木しいたけの情報発信 マウンテンバイクのコース整備 	<ul style="list-style-type: none"> 小水力発電・認可 小水力発電を活用したイルミネーションの整備 水車を活用した玄米つき 木を植えた観光（蝶・カブトムシ） 歴史のつながりのコース整備 九年庵 水の取水の案内 山野草 九州電力とタイアップした広滝発電所の案内（産業観光：取水の説明） 	<ul style="list-style-type: none"> 水車の復活 高取山公園ボルダリング 小水力発電の事業認可、実施に対しての事例紹介・現地見学 東脊振で小水力発電を展開、専門家からのアドバイス 散策コースの整備（大人を対象とした） 専門家アドバイスマーケティング 	<ul style="list-style-type: none"> パークゴルフ テニスコート スポーツ公園の整備
健康 特産物・農作物	<ul style="list-style-type: none"> 山菜、竹の子 活用 水車米の販売 付加価値 ヨモギ 止血剤 薬の活用 山菜、受け入れ、雇用の場、レストラン 山菜の環境教育（地元住民は山菜のことを知らない） 	<ul style="list-style-type: none"> 特産品の米の銘柄（水車米） 水車を活用した玄米つき（水車米としての販売） 高取山公園で山菜料理の提供（※富士町で実績あり。嘉瀬川ダムの周辺整備計画の中で施設を位置付け） 自然を活かした子どもたちの受入（地元神崎の子）の受入れ、高齢者に向けた環境教育の展開 山野草の収穫、高取山の直売場での山菜販売 特産品、農作物への付加価値を加える（付加価値のキーワードは健康） 付加価値をつけるストーリーの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 特産品を収集する仕組み 生産人口、販売網 専門家アドバイス（登録制） ※山菜などは専門的な知識が必要 ※ただし、山菜が取れる箇所は教えない アドバイザー制度 登録制 	
小さな拠点づくり 集落活動センター（高知県）	<ul style="list-style-type: none"> 小さな拠点づくりのイメージがわからない（理解不足） 	<ul style="list-style-type: none"> 山菜料理 子ども体験活動 集落活動センターへの視察（※高知の集落活動支援センターの事例紹介） 全国への発信 	<ul style="list-style-type: none"> 付け替え道 道の駅の整備 自然の魅力を活かす 	
雇用を生み出す 移住対策 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 移住者の受入 移住者とのコミュニケーションを図るためには、消防団 PTA に入るのが効果的 	<ul style="list-style-type: none"> 移住者を受け入れるために、農業従事者を増やす（耕作放棄地の活用） 農家が体験活動を展開（アドバイザーとしての収入確保） 移住希望者との体験の場（一時的な体験活動の場の提供） 空き農地 空き家の紹介（個人・団体でも積極的に案内が可能なのでは） 	<ul style="list-style-type: none"> 人口を増やすための農地転用（城原川ダム下流側） 空き家、空き農地の紹介（行政で取り組んでいるが、情報の入手が困難） 自然の魅力を活かす 	

(2) B班

将来の方針	住民・関係団体	各団体との連携	行政	ダム周辺整備事業
豊かな自然	<ul style="list-style-type: none"> ・私有林の管理 ・若い人との共同（私有林の管理）間伐、手入れ ・豊かな自然の維持のために →コミュニティ維持 ・樹木、草木の保存 ↑将来像：水と共にきれいな「水」のために 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木、草木の保存 ・地域コミュニティ ↑将来像：水と共にきれいな「水」のために 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校残る ・小水力発電 →ダム建設部、下流部 ・水車の復元（以前のように） →仁比山地区 「ダム＝水」に関連 きれいな水 	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電 →ダム建設部、下流部 ・水車の復元（以前のように） →仁比山地区 「ダム＝水」に関連 きれいな水
誇れる文化・歴史 観光	<ul style="list-style-type: none"> ・パワースポット →古くは霊山、修験場 →神社、寺 →お地蔵様 など ・かくれスポットの紹介 ・市全体の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を調べる ・歴史：集落ごとに発信 →脊振内の地区ごとに様々な歴史、文化等がある →観光への展開 ・観光拠点の充実 ・かくれスポットの紹介 ・市全体の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに歴史を伝える 発信 ・例)おじぞう様のいわれ紙面に（脊振にはいろいろなお地蔵様が存在する） ・観光コース →上流部 →全市 →周辺市町 ・水車の復元（以前のように） →仁比山地区 「ダム＝水」に関連 きれいな水 ・保養地 ・温泉 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備により：道の駅 →ダム建設部周辺 ・水車の復元（以前のように） →仁比山地区 「ダム＝水」に関連 きれいな水 ・保養地 ・温泉
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の強化 ・地元のインフルエンサー育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元のインフルエンサー育成 ・有名シェフ ・日本むかし話「脊振山のシャクナゲ」（TVの「まんが日本昔ばなし」にて放映された。シャクナゲ、弁天様。昔話の伝承） ・移住者を定着・取り込み 	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地造成 ・愛着を持ってもらう ・移住者を定着・取り組み ・保養地 ・温泉 	<ul style="list-style-type: none"> ・保養地 ・温泉
事業継承		<ul style="list-style-type: none"> ・Iターン・Uターン ・1人は残ってほしい →少子高齢 ・移住者を定着・取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者を定着・取り組み ・宅地造成 	

(3) C班

将来の方針	住民・関係団体	各団体との連携	行政	ダム周辺整備事業
活用できるよう自然保護	<ul style="list-style-type: none"> ・体験拠点の具体像の提示 ・各協会の協力・連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・各協会の協力・連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園 ・ダム事業でできる敷地を公園や自然体験の拠点に！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験拠点を考慮した整備 ・必要な自然を残す ・ダム事業でできる敷地を公園や自然体験の拠点に！
自然体験ができる場所の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・人材ネットワークの確立 ・住民側の人口組織（窓口） ・体験学習 ・昔の遊び ・昔のモノ作り ・農作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・被体験者が労働力に？ ・観光客など ・指定管理 ・若者が来る場 ①指定管理者による若者向け企画・イベント等 ②指定管理者の雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習の施設 ・ひだまりパークのような場所 ※様々な自然体験・イベントに対応する道具の完備 ・溪流釣り ・道具 ・貸農園 ・管理事務所 ・シャワー 	
人財の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・人材ネットワークの確立 ・住民側の人口組織（窓口） ・体験学習 ・昔の遊び ・昔のモノ作り ・農作業 ・住民の居場所づくりになる（高齢化対策） ・コロナで仕事が無くなった人材 ・老人会 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が来る場 ①指定管理者による若者向け企画・イベント等 ②指定管理者の雇用 【再び訪れる仕組み】 ・シイタケ作物 ・名札付記念樹 等 ・地域振興しても静かに暮らしたい。。。 ・指定管理制度の活用 ※『自分たちで盛り上げる』ではなく『盛り上げる人に協力する』形式 ※人の誘致と住民の静かな暮らしの両立 ・飲食店の誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ・市観光課との連携 ・情報発信 ・定住希望者の受け入れ先確保 	

(4) D班

将来の方針	住民・関係団体	各団体との連携	行政	ダム周辺整備事業
賑わいのある街 家族と移住したくなる街	<ul style="list-style-type: none"> 料理教室 若年層の増加 嫁問題 古民家の活用(民宿、イベント) 交流人口の増(昼間) 脊振のPR活動、SNS(若い人向けの) 	<ul style="list-style-type: none"> 脊振のPR活動、SNS(若い人向けの) バスツアーの開催 既存施設の整備利用 川岸にオープンカフェ←若い人を呼ぶ パンフレットの充実(観光地) イベント開催 	<ul style="list-style-type: none"> 空家対策 福岡に近いことをアピールし若い人を呼ぶ 働き方が去年と変化したため、”自然”を推して若年層を今、呼び込むように対策すべき キャンプ場をつくる 	
子供が集まる街(遊具、キャンプ) 若い人が集まる 子供が自然と遊べる	<ul style="list-style-type: none"> きれいな水を使つてのレクリエーション広場を作ることにより、その広場で子どもが遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が主体となった団体の発足 自然体験 自然教育(川、山で) 川遊びができるように(昔のように) 鳥類観察(バードウォッチング)の会 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に遊べる空間に整備(川、山) 大人・子どもとわずに一日遊べる場所 	<ul style="list-style-type: none"> 湖底になる場所に遊具の設置
雇用の場を作る			<ul style="list-style-type: none"> 工場誘致 観光・資源のPR 水のキレイさを活かした企業設立 ダム湖に賃貸農地 	<ul style="list-style-type: none"> 水のキレイさを活かした企業設立 ダム湖に賃貸農地
交通			<ul style="list-style-type: none"> 道路の整備(広い) 道路の拡張 	<ul style="list-style-type: none"> 付け替え道路とダム管理道路の接合
昔の暮らしを思い出すことの出る場(体験) 体験できる場	<ul style="list-style-type: none"> 体験(シイタケ狩り、栗ひろいなど)野菜 田舎の生活 知恵の伝承→雇用の場へ(具体案) 畑づくり体験 魚釣と料理 囲炉を囲んで食事 自然体験の場を増やす(修学旅行等) 昔の暮らしを体験できる民宿があったら活用できるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> 昔の人の知恵を子供へ伝承 →交流の場を設ける 地元で元々居住している方に協力(80~90才) 今の文化を継承 アウトドアを楽しむ場所 →若い人に馴染みのないイノシシの肉を食べさせるなどを体験してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史遺産保存 広滝発電所(明治~) 水力発電所 	
観光(自然)	<ul style="list-style-type: none"> 山地を活かす 	<ul style="list-style-type: none"> 窯を使った炭焼き(60~80才の方々を指導者に) 	<ul style="list-style-type: none"> 杉の管理 資源の有効活用(専門の研究者) 自転車で山の中をはしり回れる場所 サイクリングロード 水車の里~クリーク公園まで 「きれいな水」をテーマとしたツーリズム(観光業者と) 	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ場を作る キャンピングカーが止められる進入路・場所作り

(5) E班

将来の方針	住民・関係団体	各団体との連携	行政	ダム周辺整備事業
<p>ブランド作り</p> <p>物語(魅力をつなげる)</p> <p>自然</p> <p>夢がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・せせらぎ館にて地区の物販(高齢者の生きがいの醸成) ・with コロナに対応したインターネット販売の展開 ・ネット(SNS)が得意な人(特に民間企業や若年層、インフルエンサー)と連携した情報発信 ・生産のノウハウが必要 ・ローカルな行事も魅力 ・売り手と作り手がチームになって製造・販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・with コロナに対応したインターネット販売の展開 ・ネット(SNS)が得意な人(特に民間企業や若年層、インフルエンサー)と連携した情報発信 ・倉谷の柿、ゆず、こしょう、こんにゃく、しいたけ(かつてワサビもあった)等、脊振の特産品は沢山 ・ネット通販で農産物を販売できるサイト(食べチョコ、ともチョコ、ポケットマルシェ)が増加 ・売り手と作り手がチームになって製造・販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の設置 ・流水型ダムの活用事例が知りたい(特に貯水部) ・水辺の公園や沢遊びが可能な整備
<p>アクセス</p> <p>利便性</p> <p>昼間人口の増加</p> <p>安住</p> <p>風通しの良いコミュニティ</p> <p>若い力</p> <p>地元の魅力×新しい魅力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の卒業後の活躍を後押し 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者が地域になじめるかどうかお試し移住(シェアハウス) ・宿泊施設に空き家を利用した温泉 ・定着率の低い地域おこし協力隊の受入れ体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・「移住先に魅力的な県第3位の佐賀県」を生かした地方移住の対応等のAfterコロナ対策 ・行政サービス(給食無償化、子育てサービス等)の周辺自治体との格差解消 ・補助制度の充実 ・移住者が地域になじめるかどうかお試し移住(シェアハウス) ・Web環境の整備と空き家活用・リノベーションによる企業誘致や移住者増加 ・宿泊施設に空き家を利用した温泉 ・他地域で精力的に活躍している地域おこし協力隊の募集・採用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム貯水部の活用を見据えたアクセス道路の整備 ・ダム周辺道路の整備